

平成30年度 学校経営方針

大田区立池上小学校 校長 菅原 進

1 はじめに

東京都教育委員会、大田区教育委員会の方針を受け、保護者や地域の信頼に応え、学校の歴史と伝統を継承しながら、児童一人一人を大切にしたい健全な成長を促す教育を、保護者・地域とともに推進していく。

2 [東京都教育委員会 教育目標]

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

3 [太田区教育委員会 教育目標]

- 意欲をもって自ら学び、考え、行動する人
- 思いやりと規範意識をもち、社会の一員としての役割を果たす人
- 自らの可能性を伸ばし、未来を拓き地域を支える人

4 [本校の教育目標]

人権尊重の精神を基盤に、豊かな学習環境を生かし、自主性と創造性に富み、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かで社会性を備えた行動力のある児童の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。

そのため、以下の目標を設定する。

- 健康でねばり強い子（健康な心と体をもつ児童の育成）
- よく考え工夫する子（進んで学び、深く考え、行動できる児童の育成）
- みんなのために働く子（自他を大切に、人のために行動する児童の育成）

5 学校経営の視点

(1) 目指す学校像

◎信頼に基づいた教育活動の推進、安心して子供を預けてもらえる学校

①命を輝かせる学校

- ・楽しく登校するためには、自分の居場所があり、友達や教師に対する信頼感や安心感を醸成する。(生命尊重教育、人権尊重教育の重視)
- ・教師による深い児童理解に基づく学級経営を重視する。

②健康な体と豊かな心を育む学校

- ・保護者と教師が同じ方向性をもって対応していく。
- ・体力向上に向けての取組を充実させる。
- ・一人一鉢栽培（生命尊重）や道徳教育の充実を図る。
- ・学校教育の全般にわたって、豊かな人間性や規範意識を高める取り組みを行う。
- ・オリンピック、パラリンピック教育の充実を図る。

③学力をしっかりと身に付けられる学校

- ・「その学年で身につけなければならない基礎・基本的な内容（学習指導要領）」は、必ず身に付けさせる。
- ・個に応じた指導の充実を図る。
- ・新学習指導要領（移行期間）に対応した授業の充実を図る。（校内研究の充実）

④みんなで創り、歩む学校（「開かれた学校」の推進）

- ・児童を中心に、保護者・学校（教師）・地域社会がそれぞれの役割を十分果たす。（学校がリーダーシップを発揮する）
- ・「地域の宝である児童を大切に育てる」という想いを大切にする。
- ・創立140周年記念事業を通して学校や地域を大切に育てる児童の育成を図る。

（2）目指す教職員像

◎児童が輝く場面を大切にする教師

- ①教育に対する熱意と使命感をもつ教師
 - ②豊かな人間性と思いやりのある教師
 - ③児童のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師
 - ④組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師
- ※児童と向き合う時間を重視するとともに、ワークライフバランスを推進する。

（3）目指す保護者像

○学校と共育・協働し、子どものよき理解者として自立を支援する保護者

- ・保護者会や学校だより、ホームページ等を通して、保護者・地域に学校（学級）の教育方針を理解してもらう。
- ・家庭の役割、学校の役割、地域社会の役割を十分説明する。

6 学校経営の重点と方策

- （1）全教育活動を通して、学校教育目標に則った具体的活動を行い、その達成に努める。
 - 届出教育課程や学校経営方針を踏まえて、教職員が「自己申告書」に短期、中期、長期的な指導目標を立て、方策を盛り込み実践を図る。
- （2）人権教育の充実を図る。
 - 「メンタルヘルスチェック」を活用し、児童一人一人についての理解を深め、問題行動に対処する。
 - 教職員全員がすべての児童を見て育てていくという意識をもち指導にあたる。
 - 他者との「違い」を認め、互いに尊重することができる児童を育成する。
 - 必要に応じて「我慢」することの大切さを指導する。
 - いじめのない学校をつくる。
 - 特別支援学級についての理解を深め、児童の実態に応じて交流を行う。
 - 特別な支援を必要とする児童に対して、スクールカウンセラーとの連絡を密にし、特別支援員の活用等、支援策を具体化する。
 - 特別支援教室（サポートルーム）についての理解を深め、巡回教諭、特別支援専門員、特別支援教育コーディネーターと学級担任との情報交換を密に行っていく。
- （3）「学力の向上」、「体力の向上」を目指す。

- 授業のねらいが明確となっている「わかる授業」を創造する。
 - 基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
 - 問題解決学習、体験的学習等、学習活動の充実を図る。
 - ICT機器を活用した各教科指導の日常化を図る。
 - 「大田区学習効果測定」結果の分析を行い、授業改善を図る（4年～6年）。
 - 「大田区外国語活動」の定着を図る。
 - 多層指導モデルMIMを活用し、個別の指導を充実させる。
 - 各種の運動特性を理解し、技能向上を図る。
 - 「体力向上モデル校」としての指導計画、授業改善等について取り組む。
 - 運動量、質に着目した授業を展開する。
 - 「食」に関する指導を行い、児童自ら健康や体力について関心を持ち、健康増進、体力向上を図れるようにする。
 - 「運動嫌い」にさせないための指導法を工夫する。
 - 「体力向上プログラム」を活用し、一校一取組（業間体育、1学級1実践）を通して運動を継続して行う。
 - 「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」結果の分析を行い、授業改善を図る。
- (4) 「安全・安心」の徹底を図る。
- 児童の生命・安全・健康に関する事柄については、すべてに優先させる。
 - 「安全教育プログラム」を活用し、安全教育の充実を図る。
 - 教育委員会、教育センター、児童委員、児童相談所等の関係諸機関との連携を図り、児童の健全育成に努める。
 - 災害、不審者、防犯対策に応じた訓練、指導を推進する。
- (5) 地域・家庭との連携を深める。
- 学校支援地域本部（「池上っ子応援団」）を有効に活用する。
 - 地域連絡協議会を定期的に開催する。
 - 地域の「教育力」を活用する。
- (6) 保幼・小・中の連携を深める。
- 近隣幼稚園（保育園）との情報交換を行い、いわゆる「小一問題」を起こさないようにする。
 - 「スタートカリキュラム」についての理解を深め、1年生がスムーズな学校生活を始められるようにする。
 - 中学校との「小中一貫」を通して、小から中へのスムーズな継続を果たし、いわゆる「中一ギャップ」の予防に努める。
- (7) 組織的・効率的な学校運営体制を整える。
- 校長―副校長―主幹―主任―各分掌担当のラインを有効に機能させる。
 - P（Plan）―D（Do）―C（Check）―A（Action）サイクルを確立する。
- (8) 信頼される教育公務員を目指す。
- 服務規律を厳守する。
 - 体罰を行わない。
 - 児童・保護者の話をよく聞く。
 - 研修に励み自己の向上に努める。
 - 物品の節約、節電、節水等を進んで実践する。
 - 組織を生かし尊重し、連携を図って職務を遂行する。
 - ワークライフバランスを推進する。
 - 健康管理、自己管理をしっかりと行う。



◎おおた教育振興プラン2014

1. 学力向上AP【知】
2. 豊かな心を育むAP【徳】
3. 体力向上AP【体】
4. 教育環境向上AP【学校】
5. 家庭地域力向上AP【家庭・地域】

◎学校の教育目標（目指す児童像）

- 健康でねばり強い子
 - ・最後まで取り組み、責任を果たす子
- よく考え工夫する子
 - ・頑張って課題に取り組み解決する子
- みんなのために働く子
 - ・助け合い、協力できる子

◎目指す学校像

- ① 命を輝かせる学校（生命尊重、人権尊重、表現等）
- ② 健康な体と豊かな心を育む学校
- ③ 学力をしっかりと身に付けられる学校
- ④ みんなで創り、歩む学校



◆学力をしっかりと身に付ける

◎基礎基本の定着

- 「学習スタンダード」の徹底
- 個に応じた指導の充実
 - ・習熟度別、個別指導、特別支援教育等
- 週ごとの指導計画の作成・共有
- 授業改善プランの活用、授業評価
- 詩集「いけがみ」○学習発表会(12/1)
- 計算検定(3回)、漢字検定(2回)
- 読書活動の充実
- 家庭学習、補習授業の充実
- 理科教育の充実：理科支援員の活用
- 外国語活動の充実（校内研究）
- ICT活用授業の推進

◆健康な体と豊かな心を育む

◎生命尊重と人権教育の充実

- 「心をこめてあいさつしよう」の徹底
- 「生活スタンダード」の徹底
- 特別支援教育の推進
- 学校生活調査（メンタルヘルスチェック）
- 体力向上「1学級1実践」
- 業間体育（年4回1週間）の実施
- 音楽会(2/16) ○駅伝大会(12/2)
- 一人一鉢栽培（生命尊重）
- 道徳教育の充実、「特別の教科 道徳」
- 教育相談の充実
- オリンピック・パラリンピック教育の充実

◆みんなで創り、歩む

◎「開かれた学校」の推進

- 地域の人材・自然社会的環境を生かした体験的な教育活動
 - ・人権教育、防災教育、道徳教育
 - ・伝統文化に親しむ教育活動 等
- 教育アンケート、授業アンケート
- なかよし班（異学年編成）での交流
- 学校支援地域本部との連携
 - ・わくわくサマースクール
- 関係諸機関との連携（生活指導、不登校）
- 小中一貫教育事業
 - ・地域清掃、合同清掃日等
- ホームページや緊急連絡システムによる情報提供

学校経営の基本的な方針・・・信頼に基づいた教育活動の推進、安心して子供を預けてもらえる学校

1. 「チーム池上小」（家庭、地域、学校）で取り組む・・・創立140周年記念事業、教育課題 等
2. ◎命が輝く場面を大切にする

- 児童が「楽しい」、「分かった」、「できた」等、実感できる教育活動を計画的に実践する
- 児童の居場所（自己肯定感、精神的な安定感、安心感が得られる場）や活躍の場を大切にする

◎教師としての資質向上、研修の充実

- 学力向上と授業改善～学習指導要領改訂（2020全面実施）移行期間、基礎基本の定着、思考力・判断力・表現力等の育成
- 学級経営（授業規律、生活指導、話し合い活動 等）～指導技術の伝承、OJT、OFF-JT
- ワークライフバランス（働き方改革）、子供と向き合う時間の重視

3. 安全・安心な環境づくり・・・いじめの未然防止・早期発見・早期解決、安全指導・安全管理の徹底

4. 保護者や地域と共に歩む・・・Plan（計画）—Do（実行）—Check（評価）—Action（改善）サイクルを生かした学校改善

